A-31

バーチカルブラインドに関する新提案

松村奈津美　渡辺美奈

1. なぜバーチカルブラインドか

住宅に必ず存在する窓。住宅の窓を観察してみると、ウィンドウトリートメント（窓まわりの装飾や演出のこと。光や視線をカットする機能的な意味の他に、インテリアの一部としての装飾的な演出のこと。[web から引用]以下 WT）として使用されているのはカーテンが多い。

WT を取り扱うメーカーにインタビューを行ったところ、近年バーチカルブラインド（縦型ブラインド　以下 VB）の需要が伸びていることが分かった。今後も VB に魅力を感じて使用したいという人が増えるのではないかと考え、着目した。

2. 提案（1）「easy vertical blind」～ 既設のカーテンレールに取付可能なバーチカルブラインド ～

2-1. 提案の背景

日本人のニーズとして掃出窓からの出入りをしたいということがある。開閉が簡単なカーテンは日本の慣習に対して理に適っていると言える。VB も WT の中では数少ない水平方向に開閉する構造のため、今までカーテンばかりを使用してきた人にも使いやすいと推測される。表１でカーテンと今回着目した VB を比較すると、カーテンは開閉と手入れのしやすさ、親しみがある点が VB より優る。一方、VB はルーバーで構成されているため調光可能で模様替えが容易である。カーテンと VB は共通する点も多いため、それぞれの長所を活かした新提案をする。

表１　バーチカルブラインドとカーテンの比較

2-2. 提案の詳細

カーテンの親しみがあるという特長を VB にもを持たせるために、開閉はカーテンと同じように手で行い、手入れに関しては布を簡単に取外して洗濯や取替できるようにした。また既設のカーテンレールを取外してまで VB を取付けるのは面倒というのが実状ではないかと推測されるので、既設のカーテンレールに VB のルーバーを吊って使用する。VB のルーバーを使用するので模様替えが容易で回転することで調光を可能にした。また、ルーバーの幅を小さくすることでレースカーテンにぶつからないよう考慮し、回転後の隙間はコードを引っ張ることで埋めるようにした。

図１　模型写真

3. 提案（2）「partition vertical blind」～ バーチカルブラインドを間仕切りに ～

3-1. 提案の背景

居酒屋に行くと、席と席を分ける間仕切りがあるのを目にする。客の人数に合わせてフレキシルブルに仕切れるよう、ロールスクリーンを使用していることが多い。ロールスクリーンは本来は WT だが簡単な操作で仕切れることと使わない時はコンパクトに巻き取っておけるので間仕切りとしても使用されている。今回着目した VB も間仕切りに適した製品ではないかと考えた。

3-2. 提案の詳細

VB を間仕切りとして使用すると、ロールスクリーンとは異なり１つの空間を複数に仕切るというだけでなく、ルーバーを回転させることよって、空間を仕切りながらも調光や換気が可能になる。またロールスクリーンだと間仕切りからの出入りの際に全開にしなければならないところを、人が通る分だけなど必要な分だけを開けて出入りが可能である。複数のルーバーで構成されているため、模様替えも楽しめる。よりお気に入りの間仕切りにするために、好みの布を挟み込むことで自分だけのオリジナルができるようなルーバーも提案する。[図２]

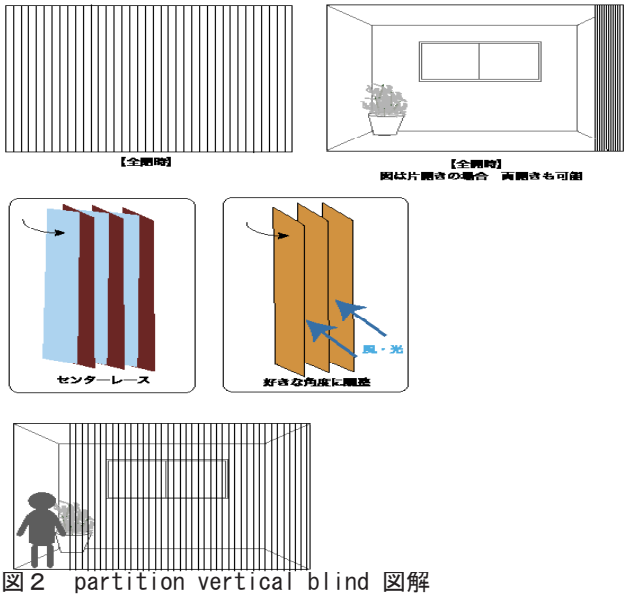

図２　partition vertical blind 図解